



急性期から
回復期まで
安全で安心な
医療を提供し
地域に貢献

大腸がんの精密検査

検査前の素朴な疑問を聞きました！

ドクター インタビュー

患者に寄り添い、医療サービスを提供するドクター。
本特集では大腸がん検診の精密検査について語って
いただきました。

社会福祉法人 恩賜 済生会支部
香川県済生会病院

副院長 尾立 磨琴 先生

Profile 1990年川崎医科大学医学部卒。香川医科大学医学部
(現香川大学医学部)附属病院、県内の医療機関勤務を経て、
2013年4月から同病院副院長と香川大学医学部臨床教授兼任。

【資格】・日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医
・日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医・指導医など。



Q & A

大腸がん検診の重要性を
教えてください。

大腸がん検診の目的は、早期に発見することです。大腸がんは、早期に発見すれば高い確率で完治することができます。しかし、早期のうちには自覚症状がないことが多く、症状が現れたころには既に進行している可能性があります。2022年、国が公表した大腸がんによる国内の罹患率(がんと診断された数)、死亡率は男女ともに上位を占めています。特に女性は、大腸がんの死者数で1位、男性は2位と高いのが現状。さらに、近年は低年齢化が問題となっており、30代、40代で発症する方が増えています。健康診断で行う大腸がん検診の便潜血検査(一次検診)は、科学的に有効であると証明された方法です。そこで陽性になった場合は、精密検査として、大腸内視鏡検査を受ける必要があります。内視鏡検査で早期の大腸がんが発見される可能性が高く、その段階で治療すれば、ほぼ完治が可能です。

大腸がん検診の受診率は高いのでしょうか？



当科では女性消化器内視鏡専門医の内視鏡検査も対応可能となっております。ご希望があれば事前にお申し出ください。

地域医療連携に
力を入れています



地域の医療機関の先生方と共に医療・保健・福祉の向上を目指し積極的に連携を図っています。

Information

緊急内視鏡を要する
消化器救急患者について

医療機関からの紹介を専用とした、消化器内視鏡専用緊急ホットラインを開設。吐血、イレウスなど緊急処置が必要な場合は、専門医師が直接対応します。

内視鏡室



回復室



丁寧かつ迅速な内視鏡検査をモットーに、最新鋭の内視鏡システムを導入することで高度な内視鏡検査・内視鏡治療を提供しています。



職員一同、万全な連携体制で、検査はもちろん、診療科にとらわれないシームレスな消化器病センターを目指しています。

Hospital data

TEL.087-868-1551

高松市多肥上町1331番地1

FAX.087-868-9733

回200台(無料平面駐車場)

https://www.saiseikai-kagawa.jp/



●診療時間

		月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	9:00~12:30	○	○	○	○	○	×	×
午後	14:00~17:00	○	○	○	○	○	×	×

※ただし、診療科によって異なります。

●休診 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

●診療科目

・内科 ・消化器内科 ・循環器内科 ・内視鏡内科 ・糖尿病内科
・腎臓内科 ・人工透析内科 ・膠原病・リウマチ内科 ・外科
・消化器外科 ・内視鏡外科 ・整形外科 ・小児科 ・皮膚科
・泌尿器科 ・眼科 ・麻酔科 ・リハビリテーション科 ・放射線科

病 院

ジャカイフクシホウジンオンシザイダンサイセイカイシブ
カガワケンサイセイカイビョウイン

社会福祉法人 恩賜 済生会支部
香川県済生会病院

当院は1911年に設立以来、「患者さまのために、地域のために、そして職員のために存在する病院」を理念に、現在、19の診療科目を有し、整形外科、消化器(内科・外科)、眼科、小児科などの専門領域を強みとし、さまざまな疾病や手術に適切に対応。急性期だけでなく巡回診療船「済生丸」によるへき地医療、無料低額診療など、他の医療機関では代替不可能な地域医療を提供しています。

大腸内視鏡検査で分かることはなんですか？
内視鏡検査で分かる病気は多岐にわたります。ポリプやがんは代表例です。最近では特殊な光を併用した機能を持つ内視鏡を使用すれば、通常の内視鏡光では見えない微小な病変や平坦な病変も観察することができ、さらに、100倍程度まで拡大可能な内視鏡を併用すれば、表面の構造や血管の太さ、長さ、不整、血管のない領域を観察することで、その病変が良性か悪性か、悪性ならばどの範囲まで広がっているかなどが分かります。超音波を発する内視鏡を用いれば、病変の深さまで分かり、内視鏡診断のみならず、治療の選択も可能です。比較的若年層に多い炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎など)や各種感染症腸炎なども、消化器内科専門医、消化器内視鏡専門医によって診断、治療方針の決定が行われます。

